SONY

4-653-477-**01**(1)

CD-R/RWドライブユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CRX200E

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

→

❶ 電源を切る

❷ パソコンのAC電源コードやインターフェースケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意　火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

行為を指示する記号



指示　プラグをコンセントから抜く

目次

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

パソコンの電源コードを抜き電源を切る

本機をパソコンに取り付けるときは、必ずパソコンの電源コードをコンセントから抜き、電源を切ってください。感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードが傷んだら、パソコン本体の修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

禁止

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

パソコンから供給されるDC 12 V／5 V電源プラグ以外は接続しない

火災や感電の原因となります。

禁止

DC 12 V／5 V電源プラグは根元まで本機のコネクターにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。

指示

DC 12 V／5 V電源プラグの向きを逆に接続しない

無理に電源プラグの向きを反対に接続しないでください。火災や感電の原因になります。

禁止

DC 12 V／5 V電源プラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。

指示

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

ぬれた手や素手でパソコン内の電源部や電源プラグをさわらない

ぬれた手や素手でパソコン内の電源プラグや電源部に触れると、感電やパソコンの故障の原因となります。また、筐体のバリに触れるとけがの原因となります。

禁止

パソコンを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

割れたディスクやヒビの入ったディスクを使用しない

高速回転時に内部でディスクが破壊されて破片が飛び出し、けがの原因となります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

本機の取り付けは、付属ネジを使用する

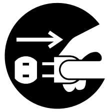
本機をパソコンに取り付けるには、必ず付属のネジを用いて、パソコンに固定してください。
ネジで固定しないと、本体がパソコンから外れて落下したり接続ケーブルを破損する原因となります。
また、ネジをパソコン内部に落下させた場合は、必ず取り除いてください。そのままパソコンを使用すると、故障の原因となります。



注意

長時間使用しないときはパソコンの電源コードを抜く

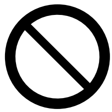
長時間使用しないときは、安全のためパソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



注意

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のCD-R/RWドライブです。

- Microsoft、MS、MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは必ずしも明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

□ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウエア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ取扱説明書に従う正常なご使用の場合において、CD-R/RWドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。
□ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウエア・ソフトウエア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウエア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
□ 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。
□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の傷害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

はじめに

CRX200Eには、次の特長があります。

□ ATAPIインターフェースのパソコン内蔵型CD-R/RWドライブです。

□ DD-R/RW（倍密度）ディスクに対応しています。

□ CD-RディスクおよびDD-Rディスクに最大12倍速で書き込むことができます。

□ CD-RWディスクおよびDD-RWディスクに最大8倍速で書き込むことができます。

□ CD-ROMディスクおよびDD-ROMディスクを最大32倍速で読むことができます。

必要なシステム構成

CRX200Eを使用するためには、以下のシステムが必要です。

□ CPU：Pentium 266 MHz 以上
高速で安定した書き込みを行うには、通常、この値以上のCPU速度が必要です。目安として、12倍速での書き込みでは、Pentium II／400 MHz以上を推奨します。

□ PC/AT互換パソコン

□ OS：Windows® 95、Windows® 98、Windows NT®、Windows® 2000、Windows® Me

□ RAM：64 Mバイト以上

□ ハードディスク空き容量：１Gバイト以上

□ ATAPIインターフェースのPrimary（Slave）、Secondary（MasterまたはSlave）のいずれかに空きがあるもの。

□ パソコンのハーフハイトドライブ用スロットに空きがあること。

□ 内蔵ドライブ用＋12 V/+5 Vの電源プラグに空きがあること。

□ 上記条件を満足し、かつ、ご使用のライターソフトウェアで指定された条件を満足すること。

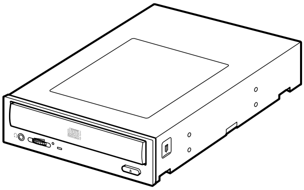
ご注意

- 以上のシステム構成は、CD-R/RWやDD-R/RWディスクへの基本的な書き込み動作を想定した、目安です。実際にCRX200Eを使用するには、このシステム構成の条件を満足し、かつ、ライターソフトウェアで指定された条件を満たす必要があります。（ライターソフトウェアの条件は、通常、以上の条件を上回ります。）
- ATAPIインターフェースカードへの接続には対応していません。（動作保証およびユーザーサポートの対象外となります。）

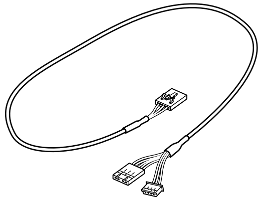
付属品一覧

梱包箱から取り出したら、CRX200Eと以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

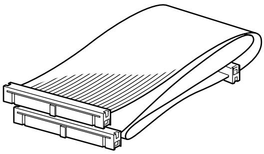
- CRX200E（本体）



- オーディオケーブル



- IDEフラットケーブル

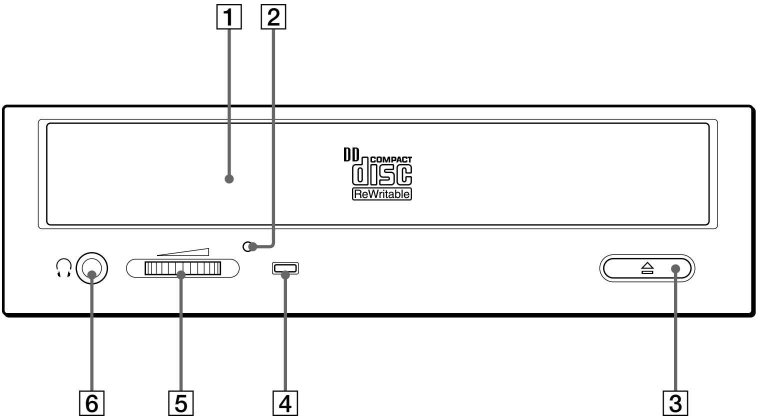


- 取り付けネジ（4本）
- 取扱説明書
- クイックスタートガイド
- ソフトウェアパッケージ
- DD-R（倍密度）ディスク*
- DD-RW（倍密度）ディスク*
- 付属品一覧（本紙）
- 保証書

* 付属のDD-R/RWディスクは、DD-R/RWディスクに対応していない一般のCD-ROM、CD-R/RWドライブなどではご使用できません。

各部の名称と働き

前面

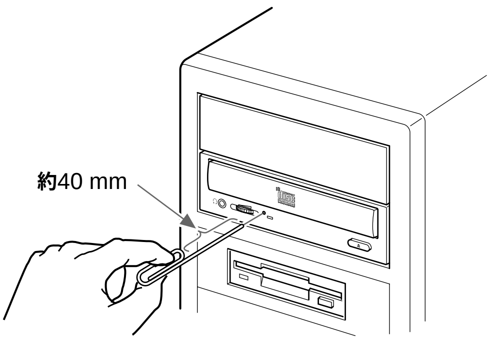


1 **ディスクトレイ**

ディスクをセットします。

2 **緊急イジェクト穴**

トレイが出なくなったとき、パソコンの電源を切ってから、クリップなどを伸ばした細い棒をこの穴に差し込み、手動でトレイをイジェクトします。



3 **イジェクトボタン**

ディスクトレイを開閉します。

次のページにつづく

4 **ビジーインジケーター**

ドライブの状態を示します。

点灯： データの読み出し、音楽CDの再生、書き込み（packet write時）など

点滅： データの書き込み（Disc at once、Track at once）、フォーマット、イレース

消灯： 上記以外の場合

5 **ボリュームコントロール**

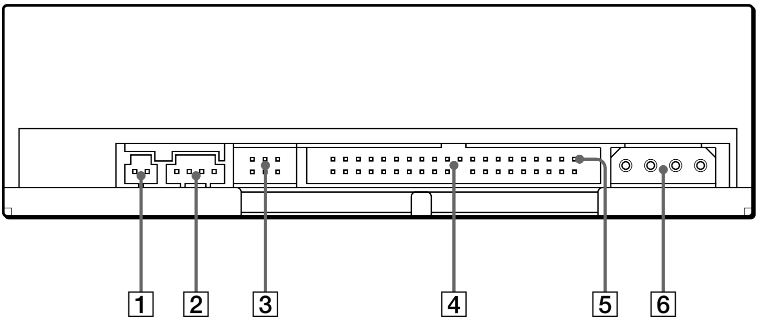
アナログオーディオ出力（ヘッドホンジャック）の音量をコントロールします。

6 **ヘッドホンジャック**

2チャンネルのアナログオーディオ信号が出力されます。

ヘッドホンやアクティブスピーカーを接続して使用します。

背面



1 **使用しません。**

2 ANALOG AUDIO**コネクター**

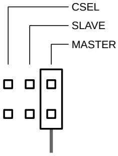
2チャンネルのアナログオーディオ信号が出力されます。付属のオーディオケーブルを使用し、パソコンやパソコンに搭載されているサウンドカードなどのアナログ入力コネクターに接続します。

詳細は「クイックスタートガイド」を参照してください。

3 環境設定ジャンパ

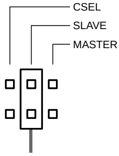
接続前に設定を変更します。詳細は「クイックスタートガイド」を参照してください。

「MASTER」に設定するとき



ジャンパピン

「SLAVE」に設定するとき



ジャンパピン

4 INTERFACEコネクター（IDEバス）

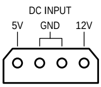
接続ケーブルでIDEホストアダプターに接続します。詳細は「クイックスタートガイド」を参照してください。

5 1番ピン

接続ケーブルの接続方向を確認するための目安にします。

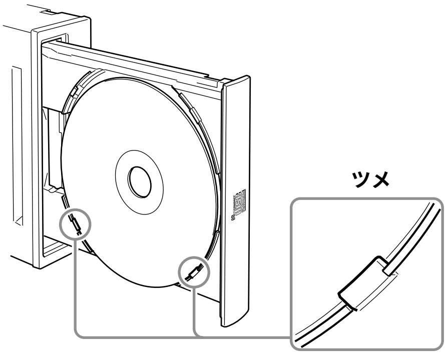
6 DC INPUT（電源入力）コネクター

パソコンから供給される内蔵ドライブ用の電源プラグを接続します。詳細は「クイックスタートガイド」を参照してください。



ドライブを縦置きにして使うときは

ディスクは、ディスクトレイ下方のツメの内側にセットしてください。



使用できるディスク

CRX200Eで使用できるディスクは以下の通りです。

ディスクの種類	マーク	
CD-R	COMPACT disc Recordable	
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	COMPACT disc ReWritable High Speed
DD-R	DD COMPACT disc Recordable	
DD-RW	DD COMPACT disc ReWritable	
CD-ROM	COMPACT disc	
DD-ROM	DD COMPACT disc	

ディスクの種類	マーク	
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	
CD Extra	COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO	CD EXTRA TM
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VIDEO CD
CD TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD TEXT
CDグラフィックス	COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS	
フォトCD	COMPACT disc PHOTO	
CD-i	COMPACT disc Interactive	
電子ブック	EBXA Electronic Book	

ご注意

CRX200Eでは円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、CRX200Eの故障の原因となりますので、使用しないでください。

次のページにつづく

CD-RディスクとCD-RWディスクについて

CRX200Eは、CD-Rディスクへの書き込みと、CD-RWディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。
書き込んだディスクをCRX200E以外の他のCD-ROMドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-Rディスクとは

1度だけデータを書き込めるディスクです。一度書き込まれたデータは消去することができません。CD-Rディスクで音楽CDを作成したものは、一般のCDプレイヤーで再生することができます。

CD-RWディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用のCD-RWディスクで約1000回のディスク全体の書き換えができます。
CD-RWディスクで音楽CDを作成したものは、一部のCD-RW対応機種を除き、一般のCDプレイヤーで再生することができません。

ハイスピードCD-RWディスクについて

CRX200Eは、ハイスピードCD-RWディスクに書き込みを行うことができます。ハイスピードCD-RWディスクに書きこんだディスクは、CRX200E以外の一般のCD-ROMドライブなどで再生することができます。

ご注意

ハイスピードCD-RWディスクには、ハイスピードCD-RWロゴの付いたCD-R/RWドライブ以外では書き込みが行えません。CRX200E以外のCD-R/RWドライブで追記や書き込みを行う場合は、必ずハイスピードCD-RWロゴの付いた製品を使用してください。また、必ずハイスピードCD-RWディスクに指定された書き込み速度に設定して書き込みを行ってください。

ディスクの互換性について

CRX200Eで作成したCD-RディスクやCD-RWディスクは、ほとんどのCD-ROMドライブで再生することができます。ただし、古いタイプのCD-ROMドライブにはCD-RWディスクの再生に対応していない機種があります。
また、CRX200Eで作成した音楽CD-Rディスクは、ほとんどのCDプレイヤーで再生することができます。ただし、一部のCDプレイヤーや車載用のCDプレイヤーには、音楽CD-Rディスクの再生を保証していない製品もあります。
なお、使用するCD-ROMドライブ、CDプレイヤー、CD-Rディスク、CD-RWディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

書き込み速度について

CD-Rディスク、CD-RWディスクへの書き込みは、ディスクに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、ライターソフトウエアで行います。

推奨するディスクについて

CRX200Eでは、ソニー製のディスクのご使用をおすすめします。
CD-R：ソニー製650 Mバイトおよび700 MバイトのCD-Rディスク
CD-RW：ソニー製650 MバイトCD-RWディスク

ご注意

- 99分ディスクの書き込みおよび再生については動作の保証をしておりません。
- 8 cmディスクへの書き込み、およびCRX200Eを使用して書き込んだ8 cmディスクの再生については動作の保証をしておりません。

次のページにつづく

DD-R/RW（Double Density Compact Disc Recordable/ReWritable）ディスクについて

CRX200Eは、従来のCD-R/RWディスクの2倍の記録容量を持つDD-R/RW（倍密度）ディスクに書き込みをするこができます。
DD-R/RWディスクは、書き込み時のトラックピッチや線速度を小さくして密度を高めることにより、従来のCD-R/RWディスク容量（約650 Mバイト）の2倍（約1.3 Gバイト）の記憶容量を実現しています。
DD-R/RWディスクへの書き込みは、CRX200Eのほか、DD-RWロゴの付いたドライブで行うことができます。また、DD-R/RWディスクの再生は、DD-R、DD-RW、またはDD-ROMロゴの付いたドライブでのみ行うことができます。

推奨するディスクについて

CRX200Eでは、ソニー製のディスクのご使用をおすすめします。
DD-R：ソニー製1.3 GバイトのDD-Rディスク
DD-RW：ソニー製1.3 GバイトのDD-RWディスク

故障かな？と思ったら

指定の相談窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店または指定の相談窓口にご相談ください。

CRX200Eのユーザーサポートに関する最新の情報を、インターネットでご案内しています。あわせてご参照ください。

症状	原因／対策
本ドライブがパソコンに認識されない。または正常に動作しない。	→ 電源プラグやインターフェースケーブルが接続されていない可能性があります。「クイックスタートガイド」を参照し、正しく接続されているかどうか確認してください。また、接続部分がしっかりとドライブやパソコン本体に接続されていることを確認してください。 → インターフェースケーブルの極性が逆に接続されている可能性があります。「クイックスタートガイド」を参照し、ドライブの1番ピンとパソコン側の1番ピンどうしが正しく接続されているかどうか確認してください。 →「Master」「Slave」の設定が正しく行なわれていない可能性があります。「クイックスタートガイド」を参照し、ドライブ背面の環境設定ジャンパで正しく設定を行ってください。 → ドライブの「Master」「Slave」の設定に合わせてパソコン側を設定する必要がある場合があります。パソコン側では、BIOSや内蔵ハードディスクドライブのジャンパーの設定を変更する場合もあります。パソコン本体の取扱説明書を参照するか、パソコンの製造・販売元の相談窓口にご相談ください。
ディスクを入れたのに音とびしたりデータが読めない。	→ ラベル面を上にして、ディスクを入れていない可能性があります。 → 使用できないディスクの可能性があります。 「使用できるディスク」（14ページ）をご覧ください。 → ディスクが汚れている可能性があるのでお手入れをしてください。 → ディスクにキズがある場合がありますので、本ドライブに異常がないことを確かめるために、別ディスクに取り替えてみてください。 → 本ドライブやディスクが結露している場合があります。ディスクを取り出して約1時間放置してください。

次のページにつづく

症状	原因／対策
ディスクが取り出せない。	→ ドライブ（パソコン）の電源がオフの時は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。 → 書き込み動作中は、イジェクトボタンを押しても取り出せません。ご使用のライターソフトウェアの操作方法に従って取り出してください。 → 何らかの原因でパソコンがハングアップしている可能性があります。ドライブの電源を入れ直し、パソコンを再起動させてください。 → どうしても取り出せない場合は、緊急イジェクト穴に細い棒を差し込んで取り出してください。
データ書き込み時にエラーが発生する。	→ 書き込み速度を低倍速に設定している場合、高倍速に設定を変更してください。使用するディスクによっては、高倍速での書き込みに最適な場合があります。書き込み速度の設定変更は、ライターソフトウェアで行います。 パソコン（CPU）の処理速度が遅い場合は、書き込み速度を低倍速に設定してください。 → パソコンのスクリーンセーバーが動作しないように設定を切ってください。 → ライターソフトウェア以外のソフトウェアを終了させてください。他のソフトウエアが動作していると、データ転送レートが極端に低くなり、データの書き損じが起こるおそれがあります。 → 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは終了させてください。 → ハードディスクのフラグメンテーション（ファイルの断片化）が原因の場合があります。ハードディスクのデフラグを行ってください。 デフラグは、Windowsの「アクセサリ」の「システムツール」などを使用して行います。 → オンザフライ書き込み（CRX200Eと、別のCD-ROMドライブなどを使用してディスクからディスクに直接データを書き込む方式）を行っている場合は、オンザフライの設定を解除してください。または、いったんハードディスクにデータをコピーし、ハードディスクから書き込みを行ってください。オンザフライ書き込みでは、CPU速度、メモリ量、読み出し側ドライブの転送速度など、多くの要因から影響を受け、システムによっては書き込みエラーが発生する場合があります。

症状	原因／対策
パソコン起動時に障害が出たり、ライターソフトウェアが正常に動作しない。	→ すでに「CDRFS」などのパケットライト方式のライターソフトウェアがインストールされているパソコンに、CRX200Eに付属のライターソフトウェアをインストールすると、正常に動作しない場合があります。他のパケットライト方式のライターソフトウェアはあらかじめアンインストールしてください。パソコンによってはプリインストールされている場合もありますので、ご確認ください。
付属以外のライターソフトウェアをインストールしたが、動作しない。	→ ご使用のライターソフトウェアがCRX200Eに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。 → ライターソフトウェアのバージョンの違いにより、CRX200Eに対応していない場合があります。詳しくは、ご使用のライターソフトウェアの製造販売元にお問い合わせください。また、ライターソフトウェアのバージョンアップサービスやダウンロードサービスを利用し、CRX200Eに対応できることがあります。
いままで正常に使用できていたが、ある時期から動作が不安定になった。	→ 何らかのアプリケーションをインストールしたあとに動作が不安定になった場合は、そのアプリケーションを一度アンインストールしてください。それで症状が回復した場合は、そのアプリケーションの使用やインストールを控えてください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

輸送について

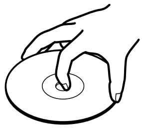
- 本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。
- 本機や本機を搭載したパソコンを移動するときは、その前に必ずディスクを取りだしてください。

結露現象について

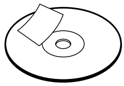
急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。



- ディスクに文字を書いたり、紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

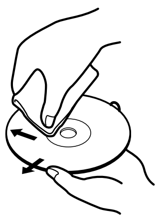
お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で空ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

ディスクの汚れは

柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
汚れがひどいときは柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めますので使わないでください。



ディスクのお手入れ

- CD-R/RWディスクや、DD-R/RWディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- CD-R/RWディスクや、DD-R/RWディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは指定相談窓口へご連絡ください

指定相談窓口については、本書の「製品サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

取扱説明書と保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは本書と保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD-R/RWドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**CRX200E
- **製造番号：**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

修理のご依頼について

本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。

主な仕様

ディスク

使用可能なディスク

CD-R
CD-RW
DD-R
DD-RW
CD-ROM
DD-ROM
CD-ROM XA
CD-DA
CD EXTRA（CD+）
ビデオCD
CD TEXT
Photo CD
（マルチセッション対応）
CD-I
CD Bridge
オーディオコンバインドCD-ROM

ディスク径　　12 cm
　　　　　　　8 cm（読み出しのみ）

書き込み方式

トラックアットワンス（CD-R/RW、DD-R/RW）
ディスクアットワンス（CD-R/RW）
セッションアットワンス（CD-R/RW）
パケットライト（CD-R/RW、DD-R/RW）

ドライブ

データ転送レート

最大：4800 Kバイト/s（32倍速[1)]）

アクセス時間

平均（ランダムストローク）：150 msec

[1)] 最大データ転送レートは、パソコンの性能によって異なります。

環境条件／保存環境

動作温度

5 ℃～40 ℃

動作湿度

20 %RH～80 %RH（結露なきこと）

保存環境

温度－20 ℃～50 ℃　湿度20% RH～90% RH（結露なきこと）

電源・その他

電源

DC +12 V/+5 V

消費電力

約11 W

大きさ

約146×41.4×193 mm（幅/高さ/奥行き）

質量

約1 kg（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース

ATAPI準拠

バッファ容量

8 Mバイト

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

CRX200Eの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRX200E
- **故障かな？と思ったら**
  本書19ページ
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名：**CRX200E
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のコンピューターのメーカー・型番**
- **コンピューターの仕様（**CPU**速度、メモリー容量、**OS**のバージョンなど）**
- **ご使用のライターソフトウエア（バージョンなど）**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージテクニカルレスポンスセンター
TEL 03-5350-1460
受付時間
月～金
10:00～12:00
13:00～17:00

CRX200Eの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージ
テクニカルレスポンスセンター

TEL: 03-5350-1460

受付時間
月～金
10:00から12:00
および
13:00から17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan